

(お知らせ)

令和5年9月4日
防 衛 省

米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転について

米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転(共同訓練)について、以下のとおり実施することとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は132回目(国内67回及びグアム等65回)となります。国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、日米共同訓練を行うことは、日米共同対処能力の維持・向上に大きく資するのみならず、日米それぞれの戦術技量の向上を図るうえで有益なものとなります。

- 訓練期間:令和5年9月26日(火)～10月4日(水)
(人員、物資輸送のため航空機が期間の前後に飛来する予定)
- 参加部隊:【米 軍】第35戦闘航空団(三沢)、第18航空団(嘉手納)
【航空自衛隊】第2航空団(千歳)
- 使用基地:千歳基地
- 訓練空域:北海道西方空域、三沢東方空域
- 演練項目:戦闘機戦闘訓練等
- 参加規模:タイプⅡ
【米 軍】F-16×12機程度及びE-3G×1機
人員220名程度
【航空自衛隊】F-15×8機程度

※本内容については、今後、変更される場合があります。

以上

令和5年9月4日開催の「米軍再編に係る千歳基地への 訓練移転に関する連絡協議会」での口頭要請事項

●北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

連絡会議として、重ねてのお願いとなるが、協定の遵守、訓練情報の提供など、先日要請した8項目について、改めてお願いする。

●苫小牧市の個別要請

- 1 当市では毎年、訓練移転元である、嘉手納飛行場周辺の沖縄市、嘉手納町、北谷町に対し、負担軽減に関する調査を実施しているが、「外来機の飛来により負担軽減の実感がない」との声があるため、外来機の飛来抑制に対する具体的な対策を行うこと。
- 2 沖縄の負担軽減について、目に見える形での検証を要請しているが、その回答において、令和2年度までは一例として、騒音測定値や平均離着陸回数を比較した数字が示されていたが、前回からその回答がないため、具体的な数字を示すこと。
- 3 今回の訓練では、三沢基地所属のF-16が参加するが、令和3年11月30日に燃料タンク投棄事案が発生していることから、安全確保に最大限配慮するとともに、原因や今後の対策などについて、情報提供すること。